



ひふみプラス

ひふみで長期投資をはじめよう



レオス・キャピタルワークス株式会社



RHEOS CAPITAL WORKS

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第1151号
加入協会：一般社団法人 投資信託協会
一般社団法人 日本投資顧問業協会

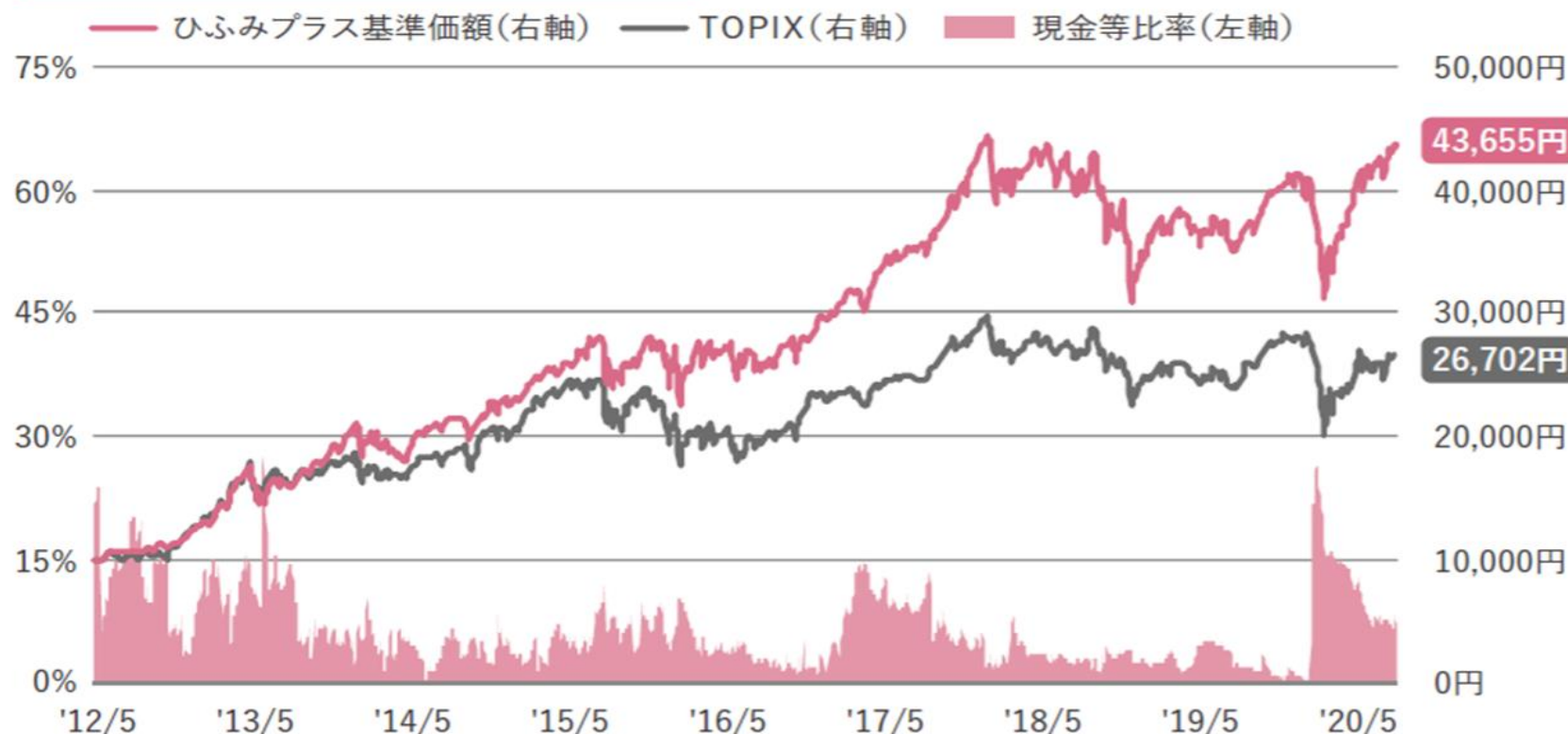
長期投資で未来をつくる

マーケットは上下動を繰り返します。そのような中、お客様からお預かりした資金を成長企業に投資することで、ひふみも成長を続けています。

本来「投資」は志があるお金が、志のある企業を応援して、社会を根っこから元気にしていくもの。ひふみは、同じ思いをもつあなたと企業をつなぎ、リスクを分散しながら長く投資することで確実なリターンにつながることを目指します。

ひふみプラス基準価額等の推移（日次）

期間：2012年5月25日～2020年8月31日



運用成績

	ひふみプラス	TOPIX
1ヶ月	6.72%	8.17%
3ヶ月	8.35%	3.62%
6ヶ月	21.93%	8.58%
1年	22.40%	9.78%
3年	21.79%	7.32%
5年	64.82%	17.86%
設定来	336.55%	167.02%

2020年8月31日現在

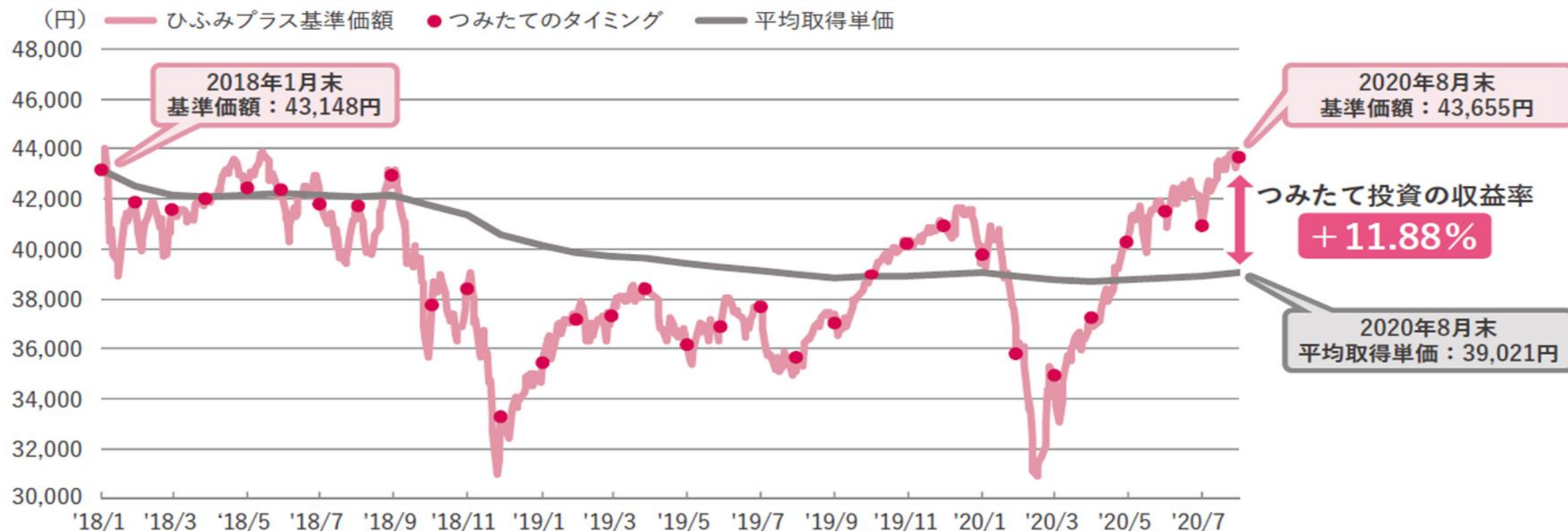
※現金等比率は、マザーファンドの純資産総額に占める「現金その他」の割合です。※ひふみプラスの当初設定日の前営業日（2012年5月25日）を10,000円として指数化し、基準価額とTOPIXのグラフや設定来の運用成績の表を作成しています。※ひふみプラスは、ひふみ投信マザーファンド（親投資信託）を通じて実質的に株式に投資しています。※「現金等」には未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。※ひふみプラスはベンチマークを設けていませんが、TOPIXを参考として表示しています。

※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

“あえてマーケットを読まない”という選択

安く買って、高く売る。それを確実に続けるのは、プロであっても困難です。
ひふみでは時間を味方につけて、コツコツつみたてすることで、しっかり資産を育てていきたいと考えています。
上がった、下がったと一喜一憂するのではなく、その先にある夢や希望を、あなたと一緒に育てていきます。

ひふみプラスつみたてシミュレーション（2018年1月末～2020年8月末、つみたて回数：32回）



※2018年1月末～2020年8月末の値であり、必ずしも「つみたて投資」が「一括投資」を上回るリターンを上げる訳ではありません。

※「つみたて投資」は各月末時点で1万円積立をした場合で計算しています。※基準価額（信託報酬控除後の価額）を使用して計算していますが、販売手数料、税金等は考慮していません。※平均取得単価は、小数点以下を四捨五入して計算しています。※収益率は、小数点以下第三位を四捨五入しています。

※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

ひふみの運用とは？

ひふみは企業の大きさや、業種、目先の実績など、枠にとらわれることなく、それぞれのスタイルで成長を遂げていく企業を柔軟に組み合わせながら投資、運用しています。

ひふみの運用は火風水土心（ひふみとうしん）

火風水土心はひふみの運用哲学の根本思想を表しています。

「火」が攻め、「風」が変化、「水」が守り、「土」が安定を表し、そこに公明正大な事業の姿勢という「心」を合わせた、独自のフレームワークによって柔軟な運用を行なっています。



- 火** 攻め 勢いのある成長企業
- 風** 変化 トренд、テーマ性のある企業
- 水** 守り ディフェンシブ、割安株
- 土** 安定 地味で地道、地方の中小型株
- 心** 銘柄選択の根本思想であり、公明正大に事業を行なっている会社かどうかを見定めること（ESGやSDGsの概念も含まれる）

ひふみを生涯のパートナーに

日本には大きな変化に対応しながらも成長する、応援したくなる企業が多数存在します。あまり知られていなくても、元気で希望に満ちて、尊敬できる志を持っている会社がさまざまな分野で活躍しています。

課題を解決しよう、未来に向けて挑戦しよう、そうした志を持って真剣に生きている人々がいる限り、日本に世界に成長する会社が無限に表れてきます。これは、30年間運用の仕事に携わってきた私の確信です。

これからも、そういう会社を見逃さずに、発掘して、しっかりと伝えていきます。ひふみがつくりだすエネルギーが、お客様一人ひとりの夢や希望へ羽ばたく糧になっていけたなら私たちとしては、これほど嬉しいことはありません。

当社公式商品ページはこちら



レオス・キャピタルワークス株式会社
代表取締役会長兼社長
最高投資責任者 (CIO)

藤野英人



当社が運用する公募投資信託のリスク / 費用

株価変動リスク	国内外の株式を組み入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、経済・政治情勢などの影響を受け変動するため、株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割り込むことがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性のもとでの取引が行なえない、または取引が不可能となる場合が生じることを流動性リスクといいます。この流動性リスクの存在により、組入銘柄を期待する価格で売却できない可能性があります。この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
信用リスク	有価証券等の発行者や有価証券の貸付け等における取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想される場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となることを信用リスクといいます。投資した企業等にこのような重大な危機が生じた場合には、大きな損失が生じるリスクがあります。
為替変動リスク	外貨建資産については、当該通貨の円に対する為替変動の影響を受け、組入外貨建資産について、当該通貨の為替レートが円高方向に変動した場合には、基準価額が下落する要因となり、損失が生じる場合があります。
カントリーリスク (エマージング市場に 関わるリスク)	当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、基準価額が大きく変動するリスクがあります。なお、エマージング市場（新興諸国市場）への投資においては、政治・経済的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートの大きな変動、外国への送金規制等の状況によって有価証券の価格変動が大きくなる場合があります。

したがって、お客様（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

お客様の負担となる費用について

- ◆ お客様に直接ご負担いただく費用
 - ・ 購入時手数料 上限**3.30%**（税抜3.00%）※当社が直接販売している投資信託は購入時手数料はありませんが、「スポット購入」に際しての送金手数料はお客様負担となります。※販売会社を通じて購入できる投資信託につきましては、購入時手数料は各販売会社ごとに定める料率となりますので、各販売会社までお問い合わせください。
 - ・ 信託財産留保額 ありません。
- ◆ お客様に間接的にご負担いただく費用
 - ・ 信託報酬 信託財産の純資産総額に対して 上限 **年率1.6280%**（税抜1.4800%）
 - ・ 監査費用 信託財産の純資産総額に対して **年率0.0055%**（税抜0.005%）※上限は 最大年間99万円（税抜90万円）です。
 - ・ その他の費用 組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料（それにかかる消費税）、先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立替えた立替金の利息など ※「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり事前に料率、上限額等を表示することができません。
- ◆ ご注意
 - ・ 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、レオス・キャピタルワークスが運用するすべての公募投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書（交付目論見書）、目論見書補完書面等をご覧ください。

投資信託説明書（交付目論見書）のご請求・お申込みは各販売会社まで。

設定・運用、詳細情報の照会先： 03-6266-0129 受付時間：（2020年4月6日より）営業日の10時～16時 <https://hifumi.rheos.jp/>

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料はレオス・キャピタルワークスが作成した販売用資料です。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料に記載されている当社が運用する投資信託の過去の運用結果等は、将来の結果等をお約束するものではありません。また、当該過去の運用結果等は、当該投資信託に投資をされた各投資家の利回りを表すものではありません。
- 当資料は作成日における信頼できる情報に基づき作成しておりますが、内容の正確性・完全性を保証するものではなく、また記載されている内容は予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり金利や相場等の変動により、元本欠損が生じる可能性があります。預金保険機構、貯金保険機構、および保険契約者保護機構の保護対象ではありませんが、証券会社を通じてご購入いただいた場合は投資者保護基金の保護対象となります。
- セミナー等で金融商品の説明等を行うことや、お客様からのご依頼がある場合に金融商品に関する追加の説明等を行うことがあります。しかしながら、売買の推奨等を目的とした投資勧誘は行ないません。また、金融商品の案内、説明等はあくまで各お客様ご自身のご判断に資するための情報提供目的であり、金融商品の購入等を推奨するものではありません。

2020年11月